

NEWS RELEASE

ダイニチ工業 初のサウンドロゴが完成しました！ さらに身近で親しみやすいブランドを目指します。 ～ロゴ制作は幅広く音楽活動を行うRAM RIDER (ラムライダー) さん～

ダイニチ工業株式会社(本社:新潟県新潟市、代表取締役社長:吉井久夫)はこのたび新しくサウンドロゴを制作いたしました。本日10月29日より、ウェブ動画にて公開しております。

当社にとって2020年は、これまでの成長を支えてきた家庭用石油ファンヒーターの発売40周年、そしてこれからの成長を支えていく加湿器の累計生産台数300万台達成という記念すべき年です。

2016年に一新したコーポレートロゴに加え、ダイニチ工業をさらに身近に親しみやすく感じていただきたと考え、この節目にサウンドロゴの制作に取り組みました。サウンドロゴの制作は、アーティストのRAM RIDER (ラムライダー) さんをお願いいたしました。

今後は各種ウェブコンテンツやテレビコマーシャル等で活用し、ブランドの認知拡大を図っていきます。

Dainichi



ダイニチ工業サウンドロゴは、YouTubeにて公開中です。

<https://youtube.com/F-IRQSQME>



新しいコーポレートロゴについてはこちらでご説明しています。

<http://www.dainichi-net.co.jp/company/logo/>

サウンドロゴ制作者 RAM RIDER (ラムライダー) さんコメント

その企業の顔ともいえるサウンドロゴの制作を任されるというのは、音楽家にとって非常に名誉な仕事です。

今回の制作にあたり、ダイニチ工業の本社や工場なども見学し、企業としての姿勢や現在の立ち位置、そこから向かうべき未来などを共有していただいた上で制作しました。

気がつくのと口ずさんでしまうような、そんな親しみやすさを感じていただければ幸いです。



RAM RIDERさんプロフィール <https://ramrider.com/>

90年中頃に数々のトップアーティストのリミックスをきっかけに業界内の注目を浴び、2000年代以降はDJ、プロデューサーとして活動。2004年に自らヴォーカルをとる形でデビューしてからはクラブを中心にライブハウス、国内外のフェスなど数多くのステージに出演。

現在は自身のレーベル401から精力的に作品をリリースしつつ、アーティストのプロデュースや、TVドラマの劇伴、映画、舞台における音楽制作で活動の幅を広げているほか、Negiccoへの楽曲提供やマッスル坂井演出のプロレス興行「まっする」の音楽監督を務めるなど新潟にもゆかりが深い。